

昨年1月～10月の住宅着工動態

景気の影響で大幅減 年計で80万戸割れも

悪化の影響で大幅減 年計で80万戸割れも

昨年の住宅着工を振り返ると、雇用・所得環境の悪化に加え、厳しい資金調達環境が着工を抑制し、総数は前年同月比で一月から十月まですべて二ケタ減となり、そのうち九カ月は三〇%を超す大幅減であった。なかでもマンションの落ち込みは大きく、四月以降六〇%を超す減少が続いている。年計（暦年）では、四十二年ぶりの百万戸割れは確実で、十一月、十二月の着工も減り、一、九六四年（昭和三十九年）以来四十五年ぶり、の八十万戸割れも懸念される。

十二月二十五日現在、統計のまとまっている一十月計の詳しい動態は以下のとおり。▼総計 六十五万九千九百四十四戸で、前年同期比二九・八%減となった。▼利用関係別 持家は二十万五千五百五十四戸で、前年同期比二七・〇%減となった。▼分譲住宅は以下のとおり。分譲住宅のうち新設マンションは六万六千四百三十三戸で、同五八・三%減となった。分譲住宅に占めるマンションの割合は四六・九%で、前年同期（六一・四%）を、三、四八八戸で、同六〇・九%減、五ポイント下回った。三大都市圏が五十二万三千三百五十一戸で、同二六・五%減となった。公的資金住宅は八万七千九百九戸で、前年同期比二一・四%減となった。▼建築工別 木造在来軸組は二万六千五百三十三戸で、前年同期比二九・九%減となった。▼木造のうち在来軸組は本造全体の七六・〇%（前年同期七六・五%）、プレハブ木造は三・四%（同三・五%）、ツーバイフォーは二〇・六%（同二〇・〇%）にあたる。▼三大都市圏・その他地域別 首都圏は二十七万四千四百二十四戸で、前年同期比三〇・九%減、中部圏は八万七千五百一十一戸で、同三・一%減、近畿圏は十萬七千七百一十戸で、同二七・七%減、その他地域は二十三万七千七百一十九戸で、同二九・〇%減であった。持家は、首都圏七・七%減、中部圏一・五%減、近畿圏一・三〇%減、その他の地域一・四%減、貸家は、首都圏一四・七%減、中部圏三・八%減、近畿圏三・二%減、分譲は、首都圏四九・三%減、中部圏四・九%減、近畿圏三・五%減、その他地域四七・二%減となった。

新設住宅着工戸数 (単位:戸)

年 月	総数	利用関係別		資金別		木造住宅		木造内訳				
		持家	分譲	貸家	給与	民間資金	公的資金	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
1995	1,470,330	637,680	352,651	563,946	26,053	837,959	632,371	666,124	45.3	554,690	37,445	73,989
1996	1,643,266	643,546	350,004	622,719	26,997	922,911	720,355	754,296	45.9	619,028	41,575	93,693
1997	1,387,014	478,741	353,438	531,220	23,617	850,416	536,598	611,316	44.1	497,843	34,015	79,458
1998	1,198,295	430,952	293,027	457,003	17,313	746,588	451,707	545,133	45.5	447,287	29,923	67,923
1999	1,214,601	475,002	302,717	424,250	12,632	677,037	537,584	565,544	46.6	458,146	31,634	75,864
2000	1,229,843	451,522	345,291	421,332	11,698	752,205	477,638	555,814	45.2	446,359	30,341	79,114
2001	1,173,856	386,814	338,955	436,312	9,767	805,502	368,356	522,823	44.5	418,402	27,186	77,235
2002	1,151,016	367,974	323,942	450,092	9,006	876,671	274,345	503,761	43.8	401,029	23,744	78,988
2003	1,160,063	372,652	326,539	451,629	9,163	917,384	242,699	523,192	45.1	418,426	23,264	81,507
2004	1,189,049	369,852	345,493	464,976	8,720	952,839	236,210	540,756	45.5	427,746	22,304	90,706
2005	1,236,175	353,267	369,067	504,294	9,547	1,044,946	191,229	542,848	43.8	426,299	20,725	95,824
2006	1,290,391	358,519	379,181	543,463	9,228	1,146,888	143,503	557,201	43.3	432,731	21,080	105,390
2007	1,060,741	314,865	294,777	441,733	9,366	960,938	99,803	504,546	47.6	383,435	17,556	98,555
2008	1,093,485	318,508	300,078	464,763	10,636	984,932	109,093	516,888	47.3	391,221	17,940	107,707
2009 1	70,688	20,057	18,434	31,628	569	62,903	7,785	33,194	47.0	24,530	1,497	7,167
2	62,303	20,278	17,558	23,652	815	55,797	6,506	29,616	47.5	22,863	1,084	5,689
3	66,628	21,295	15,911	27,492	1,930	56,829	9,799	31,304	47.0	24,222	1,008	6,074
4	66,198	22,971	14,191	26,262	2,774	58,035	8,183	33,372	50.4	25,600	946	6,826
5	23,139	13,066	11,341	25,167	1,433	55,586	7,219	33,282	53.0	25,656	940	6,686
6	68,268	26,494	12,904	27,920	1,250	59,998	8,570	40,073	58.7	30,499	1,253	8,321
7	65,974	26,045	11,941	27,278	710	57,783	8,191	37,731	57.2	28,741	1,454	7,536
8	59,749	25,147	12,270	22,141	874	52,507	7,242	34,757	58.2	25,526	1,274	6,957
9	61,181	24,501	12,827	23,179	1,091	54,017	7,164	36,410	59.5	27,550	1,212	7,638
10	67,120	25,227	13,048	27,698	1,207	57,980	9,140	38,945	58.0	28,806	1,097	9,042
1~10月	650,914	235,154	141,650	262,357	11,753	570,835	80,079	348,684	53.6	295,033	11,765	71,916
対前年比	-29.8	-13.4	-45.4	-32.2	+33.5	-31.5	-14.2	-19.4	+7.0	-19.9	-22.0	-17.0

本造のうち在来軸組は本造全体の七六・〇%（前年同期七六・五%）、プレハブ木造は三・四%（同三・五%）、ツーバイフォーは二〇・六%（同二〇・〇%）にあたる。▼三大都市圏・その他地域別 首都圏は二十七万四千四百二十四戸で、前年同期比三〇・九%減、中部圏は八万七千五百一十一戸で、同三・一%減、近畿圏は十萬七千七百一十戸で、同二七・七%減、その他地域は二十三万七千七百一十九戸で、同二九・〇%減であった。持家は、首都圏七・七%減、中部圏一・五%減、近畿圏一・三〇%減、その他の地域一・四%減、貸家は、首都圏一四・七%減、中部圏三・八%減、近畿圏三・二%減、分譲は、首都圏四九・三%減、中部圏四・九%減、近畿圏三・五%減、その他地域四七・二%減となった。

2010年(平成22年)年1月1日(金曜日) 住宅資材新聞 掲載



ビドールニュース 2010年1月号 発行：株式会社 ナガノ
 大阪市東成区大今里西1-25-4 TEL: (06)6972-3824(代)
 メール: info@bidoor.co.jp WEB: <http://www.bidoor.co.jp/>

